

片桐英数塾通信

河合サテライトネットワーク校
 全統模試実施校
坂本教室 OFFICE
 TEL 24-1337
 FAX 82-6185
天神教室
 TEL 23-1899
 E-mail
 info@katagirijuku.com

次へと繋げるために。そして未来へ繋がるために。

失敗を恐れるな！「次へ！次へ！」

そうか、この号はもう5月号になるのか、とシミジミとしております。この塾通信を書き始めたのも、今の高3生が中1だった時の7月からなので、気付けば随分と書いてきたものです。そろそろ丸5年……。そりゃ当時の中1生もおつきくなるはずですよ。(態度を含め……)。ま、何にせよ、元氣におつきくなつてくれて、嬉しい限りでございます。

ちょっと昔を思い出しております。中学や高校の頃のことを。そのことで書いてみようと思えます。中学と高校の途中まで野球部に所属し、投手としておりました。肩を壊して途中で退部してしまつた身ですので、話に説得力を加えることなどは無理ですが、私としては、野球から教えられたことは多いと常々感じており、そのことを書いてみたいと思えます。あくまで素人のたわ言ですので、こんなことを考えている人もいるんだ、くらいに読んで頂ければ幸いです。野球の分からない人もいるだろうと思えますが、そこはごめんなさいというところで……。

ど言えればキリが無いと思えますが、とにかく「どれか」だろうと思えます。「思い切り腕を振る」ことで、ボールのキレは増し、打者も打ち難くなります。腕を振るなんて簡単なことじゃないか、と思うかもしれませんが、それがなかなか大変です。投手がモーションに入ってから投げ終わるまでに、様々な筋肉を使い、様々な部分を動かします。素早く体重移動をしなから、体の部位を捻り回転させ、そしてその力を腕の先の指へと伝えボールを放ちます。全てが連動した動作の中で、いかに思い切り腕が振れるか。そのためには、体の軸がブレてはいけません。体の軸がブレれば全軌道までがブレ、力がボールに伝わらなくなつてしまふ。体の軸がブレないようにならなければなりません。まずは下半身を鍛えなければならぬ。腕を振ろうとすれば、意識は腕にいきそうなのですが、腕を振るためには、腕から最も遠い部分の下半身を徹底し

て鍛えなければなりません。これは多くのことに当てはまると思うのですが、力を伝えよう、発揮しようとするならば、問題となる部分よりも、まずは土台である基本、基礎となる部分を鍛えなければならぬ。当然、勉強にしてもそうです。

「思い切り腕を振る」には肉体的なものだけでなく、精神的なものも影響してきます。当たり前のことですが、投手の仕事はいかに相手に得点を与えないかです。相手に得点を与えたくなくて「打たれないぞ！」と気持ちが入り過ぎると、体の動きが硬くなることとなります。また、「打たれたらどうしよう」「ストライクが入らなかつたらどうしよう」と恐る恐る投げると、腕が思い切り振れなくなり、腕を思い切り振るだけなのに、体と心がうまく合わないとで

最近、ふとした時に思うのですが、昔と今を比べて、昔は、味方の取つてくれた得点が十分にあつて、たとえピンチでも、割と楽に腕が振れていた時代かもしれないなあ。それに比べて、最近は一歩もやれない緊迫した場面で投げてる感じで、「思い切り腕を振る」というより、どこか力みがあつてみたり、かといって、「打たれちゃダメだ」「ストライクを入れなきゃダメだ」と思つて固くなり「思い切り腕が振れてない」って感じになつてるのかもしれないなあ、と。ここところの20年、「失われた20年」などと呼ばれることもあるくらいなので、そんな気になるのも不思議ではないように思えます。何だか、失敗は許されないと、か、そんな感じで力チコチになつて腕が振れなくなつてくる人が多いような気がするもので……。あくまで、私が勝手に感じていたことですので、特にこれといった根拠のないもの

野球をしてきた時からずつと好きだつた言葉で、「次や！次や！」という言葉があります。エラーをすると、大抵の人は、仲間にも申し訳ないと感じます。仲間も「ドンマイ (Don't mind. 気にするな)」とは言つてくれても、それが二度、三度続くとさすがにみんなの方を見れなくなる。徐々に、首がうな垂れてくる。正直、とても辛い。しかし、「顔を上げる。次や！次や！」という、仲間からの叱りにも似たこの言葉で、随分と立ち直れたようにも思えます。「どんなに失敗しようとも次があるんだ！」と思わせてくれる、いくら叱られようと、次があるという愛を感じさせてくれる、この言葉が、私は好きです。

失敗はすべきだとは思いませんが、失敗しなれば分らないこともありません。失敗しないようにと緊張しても、硬くなつてしまつて自分の力が出せなくなつてしまふことだつてよくあります。何だかんだと思つ前に、思い切り腕

が振れるように、日頃から鍛錬しておくことが何より大事です。例えば、どんなに失敗しようとも、思い切りやってみての失敗ならば、必ず次に活きます。必ず次へと繋がります。思い切りやっていると、たとえ失敗しても、それ以上に多くの事が得られると思えます。大事なものは、思い切りやってみて、そこから次へと、考えながら悩みながら、一歩、一歩、進んでいくことなんだろうと思

第1回全統高1・2模試 5月29日(日)

申込締切日 5月18日(水) 受験料 3,200円

※受験希望者は、別紙実施要項を確認の上、締切日までに受験料を添えて申込んでください。
 申込み後のキャンセルは出来ませんので注意してください。

お迎え時の車の混雑について、保護者の皆様にご理解とご協力をお願い致します。お迎えの際には、駐車場内での安全走行、エンジン停止にご協力いただくとともに、ご近所出入口などでの路上待機、他の駐車場の無断使用などはご遠慮いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

河合サテライトおすすめ講座

◎ センター試験対策講座

国立大受験生はレベルアップして高得点を狙おう！

英語・リスニング、数学Ⅰ・A・Ⅱ・B

現代文、古文、漢文、地理B、日本史B、世界史B

現代社会、政経、倫理、物理Ⅰ、化学Ⅰ、生物Ⅰ、地学Ⅰ

◎ 二次・私大対策講座

志望大学突破のための実践力を強化しよう！

入試現代文、入試古文、頻出化学、頻出物理、頻出生物

パーフェクト日本史B、パーフェクト世界史B

ハイレベル理系数学・入試数学Ⅰ・A・Ⅱ・B

入試数学完成Ⅲ・C

計画的に早めの対策をしよう！！

体験受講・相談随時受付中！⇒ 坂本教室まで

坂本教室からのお知らせ

坂本教室では、4月30日(土) 5月1日(日)～5日(木)の期間は授業もお休みとなります。

5月の休日は、8日(日) 15日(日) 22日(日) 29日(日)です。

メールでの連絡はこちらまで info@katagirijuku.com

携帯アドレス katagirijuku@docomo.ne.jp

